

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6 商工費	1 商工費	1 商業振興費	090505	まちなか賑わい創出事業

事務事業名	まちなか賑わい創出事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 26 年度から 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

平成29年度から設置した「まちなか再生会議」において、まちなかの賑わい創出、空き店舗対策などについて議論する。また、平成27年度に開始した「めむろまちなかマルシェ」について、町・商工会、JAの連携のもと開催する。

2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)

芽室町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

まちなかに集う人の数の増加

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景

まちの総合計画(後期実施計画)においても、中心市街地の活性化は大きな課題となっている。
また、高齢化の進展や後継者不足により、まちなかの空き店舗等が増えており、まちなかの賑わいが失われていることから、まちなかの賑わいを創出し、中心市街地を活性化するために開始した。

2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

平成26年度から平成28年度の3年間取り組んだまちなか縁側プロジェクトの経過を踏まえ、平成29年度からまちなか再生会議を設置し、まちなかの賑わい創出、空き店舗対策について議論した。平成30年度は、空き店舗等所有者の意向調査やENGAWA利用者の消費動向調査を実施し、並行して会議も開催し議論を重ねていく。

平成27年度に開始した「まちなかマルシェ」は町・商工会・JAを中心とした実施体制が整い、各産業の参画や他イベントとの融合など、内容の充実を図っていく。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていくことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	3,715,113	1,154,930	1,072,000
		一 般 財 源	円	1,022,875	2,779,037	2,861,000
		事業費計 (A)	円	4,737,988	3,933,967	3,933,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.5682	0.5215	
		人件費計 (B)	円	4,681,725	4,057,043	
	トータルコスト(A)+(B)		円	9,419,713	7,991,010	
活 動 指 標		事業費予算額	円	4,737,988	3,933,967	3,933,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
火薬類審査等手数料	円	56,800	56,800	72,000
権限移譲交付金(火薬類取締法)	円	83,995	118,130	
権限移譲交付金(電気用品安全法)	円	6,895		
いきいきふるさと推進事業助成金	円		980,000	1,000,000
地方創生加速化交付金-H27繰越(商業振興費)	円	3,567,423		
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1) リビングカフェENGAWA利用実績

【予約利用】

年度	H28		H29	
使用内容	延べ利用回数(回)	利用者数(人)	延べ利用回数(回)	利用者数(人)
飲食等販売	71	2,240	22	414
講座・セミナー等	30	205	30	301
健康・医療関連	16	160	0	0
会議等	70	1,380	23	336
サークル等	145	897	170	1,458
合計	332	4,882	245	2,509

【フリースペース個人利用】

主な利用内容: パソコン作業、パンフレット閲覧、昼食、打合せ、学生の放課後利用、ゲーム等

2) めむろまちなかマルシェ実績

開催日時 平成29年8月20日(日) 12:00~20:00

開催場所 芽室町本通2~3丁目

来場者数 約5,000人

主な催物 ①グルメゾーン

飲食物販売(出店数11店舗、17ブース)

②産業体験ゾーン

アグリ広場・防火広報・スイートコーンプレゼント・十勝めむろうし無料試食・乳飲料消費拡大PR

コロポックルを探せ・子ども職業体験

③ステージゾーン

メムオロ太鼓・子ども限定BINGO大会・コイントライアル・BINGO大会・協賛企業PR・ファイヤーダンス

M-1グランプリ表彰式・大抽選会

④その他会場内企画

鉄道模型走行会

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6 商工費	1 商工費	1 商業振興費	100104	町中小企業融資事業

事務事業名	町中小企業融資事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 39 年度から 年度まで
-------	-----------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町内の金融機関と、融資制度を設け、町内に事業所を構える中小企業に対し、融資を斡旋する。本融資の受託者に対し、町は、保証料全額と利子の一部を補給している。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町内中小企業
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 事業経営の基礎となる金融の円滑化を図り、町内中小企業者の育成振興並びに経営合理化及び近代化を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 事務系の基礎となる金融の円滑化を図り、町中小企業者の育成振興並びに経営合理化及び近代化を促進するため実施した。 平成25年度から、資金使途別の融資限度額や利子補給率の範囲を改正するなど事業者が使いやすい制度へと変更した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成25年度から利子補給範囲の返上や資金使途別融資限度額の廃止を行う利用しやすい融資制度に変更した。 現在、条例に基づく指定金融機関に融資の原資として預託していく資金は3億円、強調融資は5倍としている。今後は利用件数等が増加した場合は、預託金の増による融資枠の拡大は行わず、強調倍率の拡大による融資枠の増について検討を行う。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	301,487,449	300,335,826
		一 般 財 源	円	14,369,358	23,385,000
		事業費計 (A)	円	315,856,807	323,385,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.3446	0.1534
		人件費計 (B)	円	2,839,357	1,193,385
	トータルコスト(A)+(B)		円	318,696,164	311,871,434
活動指標	申請件数		件	53	32

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
中小企業融資金貸付元金収入	円	300,000,000	300,000,000	300,000,000
過年度融資保証料返戻金	円	1,487,449	335,826	
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

○ 平成29年芽室町中小企業融資事業

(1) 中小企業融資あっせん貸付実行内訳

商工会での審査を経て、融資申込があった案件について、申込者等の納税状況を確認し、貸付を決定する。

資金種別		平成28年度		平成29年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金	設備資金	24件	81,360,000円	10件	41,100,000円
	運転資金	31件	281,220,000円	22件	171,860,000円
合 計		55件	362,580,000円	32件	212,960,000円

(2) 芽室町中小企業融資償還状況(平成29年4月～平成30年3月)

資金種別		期首融資残高(平成29年4月現在)		期中貸付実行額	期中償還額	期末融資残高(平成30年3月現在)	
経営近代化資金	設備資金	82件	276,803,400円	41,100,000円	72,965,100円	87件	244,938,300円
	運転資金	105件	781,205,000円	171,860,000円	251,763,700円	123件	701,301,300円
合 計		187件	1,058,008,400円	212,960,000円	324,728,800円	210件	946,239,600円

(3) 芽室町中小企業融資に係る融資機関への原資預託

金融機関名		平成28年度	平成29年度
北海道銀行 芽室支店		150,000,000円	150,000,000円
帯広信用金庫 芽室支店		150,000,000円	150,000,000円
合 計		300,000,000円	300,000,000円

(4) 芽室町中小企業融資に係る利子補給

資金種別		平成28年度		平成29年度	
		件 数	金 額	件 数	金 額
経営近代化資金	設備資金	83件	1,571,320円	153件	1,392,840円
	運転資金	145件	3,469,607円	254件	2,909,740円
合 計		228件	5,040,927円	407件	4,302,580円

(5) 芽室町中小企業融資に係る保証料補給

資金種別		平成28年度		平成29年度	
		件 数	金 額	件 数	金 額
経営近代化資金	設備資金	25件	1,984,676円	10件	1,116,653円
	運転資金	30件	8,831,204円	22件	5,258,816円
合 計		55件	10,815,880円	32件	6,375,469円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	3	消費経済費	100110 町内消費喚起事業

事務事業名	町内消費喚起事業	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 17 年度から 年度まで
-------	----------	-------------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

①リフォーム・新築等事業

町民または町外者で町内の建築業者が施工した、住宅新築・リフォーム及び建売住宅を購入し、居住した者に芽室町商工会が発行する共通商品券を交付し、町内の消費拡大を図る。

②買い物スタンプカード事業

18歳以下の町民を対象として、加盟店での買い物をすると、スタンプがつき、進呈品と交換することができ、町内の商店街の消費喚起につながる。

2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)

①住宅を新築・購入及びリフォームする町民

②芽室町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

①住宅新築・購入・リフォームについて、町内の建築業者を利用してもらう。

②町内の商店を利用してもらう

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景

近年、住宅新築・購入においても、町外の建築業者の施工が多いことから、できるだけ町内建築業者の利用を促進するための誘導策。さらなる経済循環および消費拡大にも寄与する事業として実施した。

2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

景気の低迷により競争が激化しており、大手ハウスメーカーに押されているのが現状であり、町内業者も厳しい状況となっているが、平成24年度からリフォーム奨励事業の対象工事の下限額を、100万円から10万円に変更したところ、申請件数が倍増した。

また、平成29年度から「まちなか賑わい創出事業」内の「買い物スタンプカード事業」を本事業で実施することとした。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業☐ 統廃合・分割などによる変更☒ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一 般 財 源	円	2,058,000	2,325,780	2,788,000
		事業費計 (A)	円	2,058,000	2,325,780	2,788,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1721	0.2649	
		人件費計 (B)	円	1,418,030	2,060,807	
トータルコスト(A)+(B)		円	3,476,030	4,386,587		
活 動 指 標		新築・リフォーム奨励金交付者数	件	47	29	29
		買い物スタンプカード予算額	円		1,035,000	1,035,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1) 住宅建設促進奨励事業

年度	交付件数	建築費用総額(円)	うち町内業者利用(円)	町内利用割合(%)	奨励金交付額(円)
25	12	220,536,873	157,619,538	71.47	1,200,000
26	4	91,080,000	60,591,121	66.53	400,000
27	6	91,973,137	76,832,830	83.54	600,000
28	3	59,410,000	40,308,236	67.85	300,000
29	3	70,287,560	45,846,683	65.23	300,000

2) 住宅リフォーム奨励事業

年度	交付件数	工事費用総額(円)	うち補助対象額(円)	補助対象割合(%)	奨励金交付額(円)
25	44	58,781,815	55,137,412	93.80	1,765,000
26	23	49,889,911	49,426,651	99.07	1,033,000
27	36	50,299,125	49,361,358	98.14	1,568,000
28	44	52,677,550	52,106,880	98.92	1,764,000
29	26	49,370,669	46,983,677	95.17	1,141,000

3) 太陽光発電システム設置奨励事業

年度	交付件数	奨励金交付額(円)
25	3	60,000
26	1	20,000
27	3	60,000
28	-	-
29	-	-

4) 買い物スタンプカード事業実績

18歳以下の子どものいる家庭を対象にスタンプカードを交付し、町内協賛店舗での買い物や飲食等による消費喚起と将来の商店街利用者の醸成、中心市街地の活性化を図る。

【年度別実績】

年度	登録店舗数	スタンプカード回収枚数(枚)	資源ごみ袋支出額(円)	燃える・燃えないゴミ袋支出額(円)	商品券支出額(円)
23	49	30,191	1,508,865	4,821,900	-
24	41	7,658	126,840	462,300	200,000
25	47	12,904	179,550	805,500	305,000
26	46	15,419	184,680	840,000	400,000
27	48	12,752	169,560	759,000	406,000
28	45	11,059	141,588	581,250	371,500
29	45	10,842	132,948	550,350	365,000

※平成28年度まで「まちなか賑わい創出事業」で実施

		(商工観光課 観光物産係)			
款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
6	商工費	1	商工費	4	観光費

事務事業名	芽室町観光物産協会運営支援事業	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 37 年度から 年度まで
-------	-----------------	-------------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・芽室町観光物産協会への支援を通じて、芽室町の地域資源を活かした観光及び物産振興につなげる。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・芽室町観光物産協会
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・物産の販促強化 ・協会主催イベントの入込客数増加

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和37年5月に芽室町の観光資源開発を積極的に進め、特色ある観光地として発展させるために芽室町観光物産協会が設立された。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 団体旅行が減少する一方で、インターネットの普及により観光情報の入手が容易となり、個人ニーズに合致した観光の多様化が求められるようになっている。また、インバウンドも十勝管内の入込数も増加傾向にあり、観光は少子高齢化時代の経済活性化の切り札と言われ、交流人口の拡大が地域経済の起爆剤と期待されている。 今後については、食や景観といった本町の貴重な観光資源を生かすとともに、体験型観光企画による誘客促進や多様化するメディアを活用することによる販路拡大等を展開し、観光物産協会の自立に向けて一体となって取り組んでいく。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一 般 財 源	円	9,553,000	9,793,000	9,924,000
		事業費計 (A)	円	9,553,000	9,793,000	9,924,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1725	0.1733	
		人件費計 (B)	円	1,421,326	1,348,199	
	トータルコスト(A)+(B)		円	10,974,326	11,141,199	
活 動 指 標		補助金(予算額)	千円	9,553	9,793	9,924

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1) 観光推進事業

芽室遺産をはじめとする観光資源や既存イベントを活かした芽室町の魅力発信を行う。

○第28回氷灯夜

- ・2月14日 来場者数 8,000人
- ・主な催物 アイスキャンドル4,500個点灯
氷灯夜期間限定グルメ販売・スノープライダル・インスタグランプリ等

2) 物産普及事業

基幹産業である農業を核とした「食」をテーマとする誘客に努め、各都市で開催される物産イベント等へ参加し物産の魅力を発信するとともに販路拡大を図る。

○十勝平原サービスエリア販売

- ・4月28日～11月5日 ※左期間のうち計185日間出店

○イベント販売(町内出店を除く)

- ・4月20日～21日 ホテルポールスター札幌(札幌市)
- ・5月23日、11月30日 日野自動車本社(東京都日野市)
- ・8月16日～20日 なまらうまいっしょ! グランプリ オールスター(札幌市:札幌ドーム)
- ・9月2日～3日 とかちマルシェ(帯広市)
- ・9月28日～10月1日 北海道産直フェア(東京都渋谷区代々木公園)
- ・11月2日～3日 ハッピーロード大山商店街(東京都板橋区)
- ・11月4日～5日 第48回羽村市産業まつり(東京都羽村市)
- ・12月10日 広尾町毛がにまつり(広尾町)
- ・2月22日～23日 うみとやまのふれあい交流30年記念事業「十勝フェア」
(札幌市:ホテルポールスター札幌)

		(商工観光課 観光物産係)			
款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
6	商工費	1	商工費	4	観光費

事務事業名	町観光・特産品普及事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 37 年度から 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・観光客
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・観光入込客数の増加

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 観光資源及び特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知ってもらふ。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 北海道新幹線の函館開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、また、管内でもアウトドアを核とするDMOが立ち上がるなど、観光を取り巻く状況は常に変化している。 ①インバウンドや新幹線の影響⇒管内ではインバウンドを見据えた動きが活発化している。新幹線については札幌延伸を見据えた取り組みが必要。 ②道東道⇒道央-道東の中間にも位置する十勝平原SAが本町PRの重要拠点となっており、特産品普及に効果を発揮しているが、町への誘客が課題。 ③SNS等の発達⇒FB等を活用した「観光の発信」や「特産品購入への誘導」が必要。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	252,030	237,326	669,000
		一 般 財 源	円	5,722,131	3,440,272	10,602,000
		事業費計 (A)	円	5,974,161	3,677,598	11,271,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.5227	0.5921	
		人件費計 (B)	円	4,306,824	4,606,280	
	トータルコスト(A)+(B)		円	10,280,985	8,283,878	
活 動 指 標		事業費(予算額)	千円	5,975	3,678	11,271

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
寄附金管理基金繰入金	円			5,000
臨職労働保険個人負担金(観光費)	円	252,030	237,326	664,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○観光普及事業

観光資源の魅力を広く発信しながら、本町の観光PRを行う。

・サイクルツーリズムの推進

「天空カフェ」での貴重な経験を通じて、本町の「食」と「景観」は魅力ある観光資源であること、それらに特化する取り組みは交流人口の増加やそこから経済効果を生むための消費につながることを再認識したことから、食と景観をつなぎ広く発信する手段として、新たに「サイクルツーリズムの推進」に取り組む。

○サイクルツーリズム協議会の設置（6月7日）

○サイクルツーリズム協議会の運営支援

- ①協議会の開催(6～3月 全11回)
- ②ルートづくり
- ③ルートの試走（7月25日・30日 全2回）
※新嵐山拠点ルート～坂の上・上美生・渋山方面
- ④モニターによる試走の実施（9月23日）
※新嵐山拠点ルート～渋山方面

○サイクリストにやさしい受入体制の構築

- ①サイクルスタンド、空気入れの購入・設置
※設置場所－新嵐山荘、観光物産協会「ゆめ広場 呼路歩来」

○特産品普及事業

物産販売を通じて、芽室町の認知度向上や販路拡大に結びつく可能性があるものについて、優先的に取り組む。

(1)特産品販売促進

- ・4月20日～21日 ポールスター札幌販促・レストラン食材提供(札幌市) ※市町村連携事業
- ・5月23日、11月30日 日野自動車本社場内販促・社員食堂メニュー提供(東京都日野市)
- ・9月28日～10月1日 北海道産直フェア(東京都渋谷区代々木公園) ※北海道ふるさと会連合会事業
- ・2月22日～23日 うみとやまのふれあい交流30年記念事業「十勝フェア」
(札幌市:ホテルポールスター札幌) ※うみとやまのふれあい交流推進事業

(2)特産品PR提供

- ・4月 ポールスター札幌レストラン食材提供
- ・9、11、1、2月 スポーツ報知購読者プレゼント
- ・12月 広尾町毛がにまつり抽選会景品提供

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6 商工費	1 商工費	5 工業振興費	100302	企業誘致促進対策事業

事務事業名	企業誘致促進対策事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 48 年度から 年度まで
-------	------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 東工業団地への企業誘致を促進するための立地企業に対する優遇支援。 ①固定資産税相当額の奨励金交付(新規立地企業に原則5年間) ②新規雇用額増に対する雇用助成金の交付(町内在住者(18万円/人・町外在住者12万円/人) ③土地所得資金低金利融資制度(用地所得費用の80%以内。上限1億円) ④地域未来投資促進法に基づく課税免除(3年間)	2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 東工業団地誘致企業による優遇支援策の積極的活用	3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 誘致及び立地企業による優遇支援策の積極的活用
---	---	--

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 東工業団地造成事業開始による。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 企業誘致促進のための奨励制度であるが、国の政策の見直しに伴う法改正の動きを見据え、平成29年度に一部改正を行なった。近隣自治体の産業振興策や企業における設備投資動向を勘案し、見直しを図っていく。
---	--

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円		
		一般財源	円	92,653,400	124,474,100
		事業費計(A)	円	92,653,400	124,474,100
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.4262	0.5640
		人件費計(B)	円	3,511,706	4,387,675
	トータルコスト(A)+(B)		円	96,165,106	128,861,775
活動指標	企業支援優遇対策の種類	事項	2	2	2
	企業訪問回数(十勝管外)	回	12	12	12

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1) 東工業団地企業誘致奨励金

【単位:円】

年度	件数	金 額
25	1	104,725,700
26	1	94,019,000
27	1	82,870,600
28	2	92,653,400
29	3	124,474,100

2) 企業誘致融資原資預託金

【単位:円】

年度	年度当初		当年度新規		年度末		備 考
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
25	1	930,000		—	1	930,000	預託先1社
26	1	670,000		—	1	670,000	預託先1社
27	1	420,000		—	1	420,000	預託先1社
28	平成28年度より地域開発事業特別会計に移行						

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	6	めむろ駅前プラザ費
			100112	めむろ駅前プラザ維持管理事業

事務事業名	めむろ駅前プラザ維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 10 年度から 年度まで
-------	----------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 中心市街地再開発事業で整備された中心市街地活性化の中核施設である「めむろ一ど」を適正に管理して一層の集客化を図り、中心商業地域の振興と活性化を進めるため、施設維持管理に係る費用を負担する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) めむろ一ど(めむろ駅前プラザ)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 中心市街地活性化の中核施設である当該施設の適正な管理の実施。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 平成10年のめむろ一ど(めむろ駅前プラザ)開設により事業を開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成18年度から指定管理者制度を導入し、よりいき届いた施設管理等が行えるようになった。平成19年度に使用料を増額改定し、会議等の利用回数が減少したが、平成24年度に行った利用料の見直しにより、平成19年度改定以前の額に改正したことにより、平成28年度、開設後18年経過した老朽化する当該施設の修繕計画を策定し、平成29年度より計画に基づいた修繕を実施。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円	3,202,488	12,227,000
		一般財源	円	38,458,461	42,325,000
		事業費計(A)	円	41,660,949	54,552,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.0642	0.1005
		人件費計(B)	円	528,981	781,846
	トータルコスト(A)+(B)		円	42,189,930	53,123,658
活動指標	維持管理経費		円	41,660,949	54,552,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
めむろ駅前プラザ使用料	円	3,069,155	3,634,900	3,016,000
めむろ駅前プラザ自動販売機等使用料	円	107,733	107,733	107,000
私用電話料(めむろ駅前プラザ費)	円	25,600	24,410	12,000
寄附金管理基金繰入金	円			9,092,000
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 する 説 明

平成29年度めむろ駅前プラザ利用状況 29,257人 (平成28年度 22,221人)

1) 利用目的別使用回数

No	利用目的	回 数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	講演会	61回	51回	37回	64回	32回
②	会議、例会等	196回	233回	240回	241回	284回
③	研修会	68回	52回	77回	58回	69回
④	記念祝賀会、イベント等	112回	94回	115回	107回	131回
⑤	結婚式		4回	4回	2回	5回
⑥	展示即売会	39回	33回	25回	26回	27回
⑦	作品展	8回	8回	8回	9回	9回
⑧	サークル、文化活動	102回	51回	70回	98回	126回
⑨	その他(準備、控え室、リハーサル等)	193回	170回	154回	125回	163回
合 計		779回	696回	730回	730回	846回

2) 部屋別利用状況

No	部屋名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①	セミナーホール	回数	16	17	14	19	17	12	17	20	17	24	19	18	210
		使用人数	937	1,580	1,678	1,531	2,189	1,080	1,303	1,670	1,104	1,882	2,188	1,436	18,578
②	セミナー室	回数	13	22	24	26	27	19	18	16	13	18	15	18	229
		使用人数	239	342	343	281	393	229	287	220	188	267	249	268	3,306
③	和室	回数	8	7	7	12	12	9	7	11	5	8	9	3	98
		使用人数	82	79	51	64	145	114	91	173	29	55	62	32	977
④	レファレンス	回数	17	18	20	18	22	19	19	18	15	11	18	15	210
		使用人数	324	285	333	283	355	370	304	390	275	187	322	300	3,728
⑤	調理室	回数	11	6	6	4	8	5	2	9	5	11	8	5	80
		使用人数	50	35	42	18	41	35	14	67	22	66	66	21	477
⑥	ホワイエ	回数		11			1	1	1	2			1		17
		使用人数		1,016			600	90	50	100			30		1,886
⑦	テラス	回数					1		1						2
		使用人数					300		5						305
H29合計		回数	65	81	71	79	88	65	65	76	55	72	70	59	846
		使用人数	1,632	3,337	2,447	2,177	4,023	1,918	2,054	2,620	1,618	2,457	2,917	2,057	29,257
(参考)H28合計		回数	61	51	49	64	69	41	69	68	48	68	81	61	730
		使用人数	1,591	1,986	1,611	1,680	1,763	1,013	1,999	1,639	1,145	2,703	3,209	1,882	22,221
(参考)H27合計		回数	57	68	47	66	77	56	55	59	55	62	74	54	730
		使用人数	1,649	2,381	1,760	1,959	2,617	1,660	2,499	2,372	1,777	2,376	2,829	1,686	25,565
(参考)H26合計		回数	62	50	48	67	53	40	47	70	60	66	64	69	696
		使用人数	1,767	2,089	1,367	3,627	1,810	1,020	1,643	2,312	3,110	2,238	2,848	2,129	25,960
(参考)H25合計		回数	58	50	43	79	70	66	81	86	70	57	67	52	779
		使用人数	2,440	2,037	1,504	2,457	2,540	1,549	2,928	2,799	2,590	2,380	2,895	2,454	28,573

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	6	めむろ駅前プラザ費
			100126	めむろまちの駅運営支援事業

事務事業名	めむろまちの駅運営支援事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 24 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 中心市街地活性化、町民・来訪者への情報提供及び町民活動の推進などを目指して設置する「めむろまちの駅」の管理及び運営支援を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) めむろまちの駅
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・芽室町の情報発信 ・利用者へ軽食及び休憩の場を提供 ・町民に対して町民活動の推進に関する情報提供 ・中心市街地活性化に資する集客イベント等の開催場所

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 めむろ一ど内で長年空き店舗となっている場所があり、めむろ一ど管理協議会から空き店舗解消についての要望が町に寄せられていたが、購入額や活用策等から進展していなかった。 平成23年度、所有者との協議が進展し、活用策は「高齢者等のコミュニティの場」づくりなどとし、「めむろまちの駅」を設置した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 芽室町・商工会・観光物産協会・市街地町内会連合会・町民活動支援センター運営母体・特定非営利活動法人「めむの杜」を構成員として運営を開始した。 町の情報提供、町民活動の支援、各種集客イベントの開催などにより、まちの駅へ集客を図り、中心市街地活性化につなげていく。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	463,000	438,000
		一 般 財 源	円	5,398,435	6,488,000
		事業費計 (A)	円	5,861,435	6,926,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.2288	0.2232
		人件費計 (B)	円	1,885,214	1,736,399
	トータルコスト(A)+(B)		円	7,746,649	8,363,460
活動指標	事業費		円	5,861,435	6,926,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
まちの駅施設管理負担金	円	463,000	454,000	438,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

平成29年度めむろまちな駅利用状況

1)実績

年度	来場者数	営業日数	1日あたり来場者数	飲食部門売上
25	16,914人	355日	48人	839,630円
26	13,121人	355日	37人	755,140円
27	11,591人	327日	35人	768,420円
28	11,715人	355日	33人	907,825円
29	12,824人	349日	37人	591,060円

2)平成29年度実施イベント等一覧

① 夏休み子ども体験講座 紙ねんどスイーツデコを作ってみよう

- ・ 開催日 平成29年8月6日
- ・ 事業内容 紙ねんどでスイーツデコを作成し、夏休みの自由研究として参加してもらいまちの駅を知ってもらう。
- ・ 参加者 11名

② 小学生パステルアート講座 クリスマスバージョン

- ・ 開催日 平成29年11月26日
- ・ 事業内容 パステル画は手軽に楽しめるもので幅広い年代の家族とのコミュニケーションに繋がるとともに、まちの駅を知ってもらい、今後の利用につなげる。
- ・ 参加者 5名

③ おとなの図工教室 ノワールアート

- ・ 開催日 平成30年2月4日
- ・ 事業内容 絵の経験のない方、難しいと思っている方に参加してもらい生活へのハリや友達づくり等のきっかけ作りに繋がるとともに、まちの駅を知ってもらい今後の利用につなげる。
- ・ 参加者 11名

3)平成29年度調理室・ギャラリースペース利用状況一覧

【調理室】

年度	利用回数	人数	使用目的
29	8	81	販売体験、お菓子作り、認知症カフェなど

【ギャラリー】

年度	利用回数
29	10

		(商工観光課 観光物産係)			
款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
6	商工費	1	商工費	7	新嵐山スカイパーク費
				100213	新嵐山スカイパーク運営支援事業

事務事業名	新嵐山スカイパーク運営支援事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 50 年度から 年度まで
-------	-----------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・新嵐山スカイパーク一帯の施設整備及び維持管理を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・施設利用者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・利用者数の増加

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 「町営」としていたが、景気低迷等による運営費赤字が増加したため、「廃止」を含めて検討したが、最終的には平成14年度から「指定管理者制度」により運営している。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 新嵐山スカイパーク一帯の施設・整備の老朽化が進み、安全性確保や運営上の問題から段階的な修繕や設備の更新などにより、修繕など施設整備にかかる費用の増加が見込まれる。 利用者が求める環境、快適に過ごせる環境の整備を実施することにより、新嵐山一帯の利用者数増加、ひいては観光入込客数の増加につなげていきたい。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		2,602,392	3,000,000
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一 般 財 源	円	136,304,669	73,757,020	78,683,000
		事業費計 (A)	円	136,304,669	76,359,412	81,683,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.4734	0.5144	
		人件費計 (B)	円	3,900,613	4,001,808	
	トータルコスト(A)+(B)		円	140,205,282	80,361,220	
活 動 指 標		管理運営委託料	円	44,841,000	44,841,000	44,841,000
		施設整備費	円	88,135,055	26,055,399	29,591,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
地方創生推進交付金(新嵐山スカイパーク費)	円		2,602,392	3,000,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○新嵐山スカイパーク(宿泊・スキー場・公園・キャンプ場等)の管理運営を、芽室町が100%出資する第3セクター「めむろ新嵐山株式会社」に平成14年4月1日から委託。

1) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者数推移 (年度毎の月別)

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16年	270	573	704	911	1,034	1,067	745	527	457	773	483	475	8,019
17年	317	451	581	749	984	1,001	826	448	361	614	310	282	6,924
18年	300	456	712	835	933	843	678	396	267	401	298	333	6,452
19年	315	409	533	693	1,056	636	746	315	475	334	306	462	6,280
20年	273	357	465	647	940	701	516	394	330	519	340	290	5,772
21年	149	455	420	854	854	606	489	309	351	333	342	316	5,478
22年	237	343	422	633	731	462	559	267	370	578	373	279	5,254
23年	184	353	595	539	692	498	481	287	391	392	254	253	4,919
24年	193	378	432	594	729	539	528	316	507	371	266	250	5,103
25年	230	346	383	878	891	527	390	210	341	347	280	258	5,081
26年	105	327	360	858	980	529	543	281	411	322	255	174	5,145
27年	208	376	530	590	744	601	428	175	209	258	186	210	4,515
28年	209	325	426	890	1,151	610	593	472	421	277	329	265	5,968
29年	341	474	412	1,063	1,276	735	745	417	398	535	306	234	6,936

2) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者数推移 (年度別)

単位:人

元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
9,435	11,486	13,575	13,577	15,058	13,563	13,259	12,689	11,149	10,286	9,166	7,382	7,366	7,878
15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
8,103	8,019	6,924	6,452	6,280	5,772	5,478	5,254	4,919	5,103	5,081	5,145	4,515	5,968
29年													
6,936													

3) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者の地域別推移

	芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外		芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外
14年	34.0%	26.8%	25.8%	13.4%	15年	32.8%	32.3%	24.2%	10.7%
16年	30.2%	29.7%	26.3%	13.8%	17年	27.1%	22.6%	32.7%	17.6%
18年	27.7%	23.6%	33.7%	15.0%	19年	28.5%	31.2%	23.4%	16.9%
20年	17.7%	30.5%	32.7%	19.1%	21年	22.9%	21.6%	33.6%	21.9%
22年	16.3%	34.9%	26.7%	22.1%	23年	26.9%	22.6%	22.7%	27.8%
24年	28.5%	22.2%	22.7%	26.6%	25年	22.6%	22.4%	27.6%	27.4%
26年	18.6%	16.6%	33.6%	31.2%	27年	19.7%	18.3%	29.3%	32.7%
28年	15.6%	12.1%	40.1%	32.2%	29年	10.9%	12.8%	44.1%	32.2%

4) メムロスキー場リフト乗降客数推移 (年度毎の月別)

単位:人

	12月	1月	2月	3月	合計
14年	65,776	216,059	213,555	107,971	603,361
15年	58,401	210,757	191,615	83,346	544,119
16年	75,206	207,459	186,291	101,491	570,447
17年	59,797	220,042	182,112	71,051	533,002
18年	22,076	153,937	182,600	75,481	434,094
19年	43,671	178,308	168,924	51,525	442,428
20年	34,859	180,036	168,766	70,323	453,984
21年	50,241	196,006	158,710	73,124	478,081
22年	38,540	209,719	168,272	64,799	481,330
23年	59,323	200,889	160,127	78,990	499,329
24年	64,710	197,087	180,729	67,664	510,190
25年	10,880	121,859	154,425	61,556	348,720
26年	57,807	201,249	154,159	79,791	493,006
27年	25,522	174,570	141,238	68,264	409,594
28年	54,004	195,613	147,344	74,197	471,158
29年	57,427	199,881	156,931	66,935	481,174

(商工観光課 観光物産係)
事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

5)メムロスキー場リフト乗降客数推移 (年度別)

単位:人

元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
973,714	1,144,747	1,106,914	1,178,453	1,083,091	951,033	1,056,106	1,041,691	943,848	863,960
11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
787,780	697,570	665,451	603,361	544,119	570,447	533,002	434,094	442,428	453,984
21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
478,081	481,330	499,329	510,190	348,720	493,006	409,594	471,158	481,174	

○特別支援学校等修学旅行誘致補助金 5,204,785円

地方創生推進交付金を活用し、農福連携を活用した障がい者の生涯活躍のまちづくり推進事業として障がい者受入コーディネート人材配置事業を実施するため、(株)めむろ新嵐山に補助金を交付

補助事業内容

①修学旅行誘致に向けた取り組み

- ・就労体験プログラムを盛り込んだ宿泊プランの周知活動
 ※東京都で開催された芽室町障がい者就労フェアへの参加 (11月2日)
 ※都内特別支援学校等へ宿泊プランの送付
- ・「プロジェクトめむろ 就労キャリア教育観光事業」の受入れ (実績:5組、92名)
 ※障がいを持つ社員のアテンドによるホテル業務体験の実施

②障がい者雇用に向けた取り組み

- ・社員教育の一環として、施設外支援の受入れを実施
 ※9月18日～10月26日 計26日間
- ・障がい者1名を採用(11月～)

(商工観光課 観光物産係)

[illegible]